SDGs新聞	ピッキオ
自然観察ツアー	

SDGsラジオを読んでみよう！

緑の森の中で深呼吸。気持ちいいですよね。
森にはさまざまな生き物が暮らしています。そこでみなさんは、この花はどうしてこんな形なの？とか、あの鳥はどうして鳴いてるの？とか、これはどの動物の足跡？なんて、思ったことはありませんか？
星野リゾートから生まれた「ピッキオ」という団体では、長野県軽井沢の森で、そんな疑問に答える、いろいろな自然観察ツアーを行っています。
知識の豊富なスタッフが楽しく解説してくれるので、図鑑を見るだけではわからない、驚きと不思議に満ちた生き物たちの姿を知ることができます。空を飛ぶムササビを観察できるツアーもあるそうですよ。
ピッキオがこうしたツアーを行う理由は、「森と森に生きる動物や植物を未来に残していきたい」から。
そう、多くの人に森の生き物たちの魅力を知ってもらうことこそ、自然環境を守る第一歩なのですね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：野鳥の森 ネイチャーウォッチング
（ピッキオ公式HPより）

長野県の軽井沢町にて、野生の動植物の保全に取り組むNPO法人「ピッキオ（イタリア語で「キツツキ」の意味）」では、「森と森に生きる動物や植物を未来に残していきたい」という願いから、さまざまな「自然観察ツアー」を開催しています。その中でも「野鳥の森ネイチャーウォッチング」は、ピッキオの代表的なツアーで、「軽井沢野鳥の森」を歩きながら、四季折々の旬の生き物を観察します。小鳥のさえずりを聞きながら、リスやキツネ、多様な花々、昆虫たちと出会えるこのツアーは、子どもから大人まで幅広い年齢層の人々に愛され人気を博しています。

画像参照：ムササビウォッチング
（ピッキオ公式HPより）

「空飛ぶムササビウォッチング」も、人気のツアーのひとつです。ムササビはリス科に属する哺乳類の動物で、前足と後足との間に飛膜（ひまく）と呼ばれる膜があり、この飛膜を使ってグライダーのように滑空するのが特徴です。その滑空距離はなんと100mを超えることも。日本に生息するムササビは、世界中のムササビの仲間のうちでも最大級の大きさを誇り、飛膜をマントのように大きく広げ、夕暮れの森を静かに滑空するムササビの姿を観察することができます。ピッキオによる長年の調査データにより、ムササビの生態や飛行ルートをしっかり把握しているので、このツアーで滑空するムササビを目撃できる確率はなんと95％以上なのだとか。このように、ピッキオではさまざまな「自然観察ツアー」を通して、一人でも多くの人に動植物に対する知識を深めてもらい、人と動植物との共存について考えてもらうきっかけを提供することで、自然環境保護に貢献しています。

キーワード

NPO法人

「NPO」は「Non-Profit Organization」の略称で、さまざまな社会貢献活動を行う非営利団体です。

軽井沢野鳥の森

標高1,000m付近にある国設の森で、広さは約100ha（東京ドーム約21個分）。ここに約3kmにおよぶ遊歩道が設置されています。

滑空

鳥のように羽ばたいて飛ぶのではなく、風など自然の力を利用して飛ぶことを「滑空」といいます。

対象ゴール

みなさんにできること！

人と野生動物、自然との共存問題に目を向け、さらに理解を深めてみましょう。

おさらい

- 野生の動植物の保全に取り組むNPO法人がある。
- 自然とのふれあいは、「環境保護」への意識を高めるきっかけになる。
- 日本に生息するムササビは、世界中のムササビの仲間のうちでも最大級の大きさを誇る。

メモ

SDGsラジオ